

図書館だより

徳島県立穴吹高等学校 2021年5月



新学期が始まって1ヶ月が過ぎましたが、みなさん、新しい環境には慣れましたか？
5月は新緑がきれいで、風もさわやか・・・のはずが、5月15日に四国地方の梅雨入りが発表されましたね。5月15日というのは、記録を取りだしてから1番早い梅雨入りになるそうです。
雨が続いて憂鬱ですが、本を読むにはいい季節です。ぜひ図書館で本を借りて、読書しましょう！

1人3冊まで 1週間 貸出しています。

図書館の開館時間：午前10時～午後4時40分

2021年 本屋大賞が発表されました。



☆第1位 「52ヘルツのクジラたち」 町田そのこ 著
「わたしは、あんたの誰にも届かない52ヘルツの声を聴くよ」
自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。
孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。



☆第2位 「お探し物は図書室まで」 青山美智子 著
お探し物は、本ですか？ 仕事ですか？ 人生ですか？
人生に悩む人々が、ふとしたきっかけで訪れた小さな図書室。
彼らの背中を、不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない本のセレクトと可愛い付録で、後押しします。
自分が本当に「探している物」に気がつき、明日への活力が満ちていくハートウォーミング小説。



☆第3位 「犬がいた季節」 伊吹有喜 著
1988年夏の終わりのある日、高校に迷い込んだ一匹の白い子犬。「コーシロー」と名付けられ、以来、生徒とともに学校生活を送ってゆく。初年度に卒業していった、ある優しい少女の面影をずっと胸に秘めながら…。昭和から平成、そして令和へと続く時代を背景に、コーシローが見つめ続けた18歳の逡巡や決意を、瑞々しく描く青春小説の傑作。

第4位 「逆ソクラテス」 伊坂幸太郎 著

第5位 「自転しながら公転する」 山本文緒 著

第6位 「八月の銀の雪」 伊予原新 著

第7位 「滅びの前のシャングリラ」 凧良ゆう 著

☆第8位 「オルタネート」 加藤シゲアキ 著

☆第9位 「推し、燃ゆ」 宇佐美りん 著

☆第10位 「この本を盗む者は」 深緑野分 著



※☆マークの本は図書館のカウンター前の台に置いてあります。
図書館に無い場合は、リクエストも受け付けています。

